

京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2059回★ 初瀬山, 竜王山	11/3(祝) 近鉄京都駅7:30発 橿原神宮行急行7:44に 乗車します。	奥村 弘信 (791-7400)	近鉄長谷寺…初瀬山…竜王 山…長岳寺…柳本 ^{バス} 天理 ～京都(9km)
雨天の場合中止します。費用2,500円 参加される方は、担当者に事前に連絡して下さい。			
第2060回★★ オオボウソウ (点名 栗尾△760.1)	11/19(日) 7:00 壬生厚生会館前集合	大槻 雅弘 (703)	壬生-福知山-上夜久野- 現世…△760.1…天谷峠… 現世…壬生
現世の古老に聞いたチョット変わった山名に興味を持っている。秋絶紅潮の山を楽しみたい。			
第2061回★★ 雪彦山	11/18(土)～19(日) 7:00 壬生厚生会館前集合	大倉寛治郎 (3371) (642-4332)	携行品 登山用具 シュラフ
今年も播磨の岳人と親交を深めるべく、秋の雪彦山行を企画しました。多数の参加を、 事前に担当者に連絡して下さい。 登山コースは、岩登り、沢登り、一般登山コースがあります。			
第2062回★★★★ 荒島岳	11/22(水)～23(木) 21日 12:00 担当者宅発 12:30 五条烏丸	吉田 武 (654)	21日 京都-敦賀IC-福井 北IC-勝原スキー場 (テント泊) 22日 勝原スキー場…荒島 岳往復-福井-京都
テント泊, マイカー山行の為、事前に連絡して下さい。			
第2063回★★★★ 平成7年度 一斉清掃登山 天王山	11/26(日) 9:00 JR大山崎駅前	岡田 茂久 (790)	
主催 京都府山岳連盟(協力 京都府各市町) 午前中には終了予定、手袋、ゴミ袋、軽食、ジュース等配布されます。 大山崎町との共同作業で、京交から20名が参加予定人員です。ご協力をよろしく、			
今月の集会 日時 11月10日(金) 18:30 場所 厚生会館4F 大教室		企画運営委員会 日時 11月20日(月) 18:30 場所 厚生会館4F 大教室	



天高く馬肥ゆる秋である。9月には台風やら秋雨前線やらで結構（特に週末には）雨が降ったが、10月になってさすがに大陸の高気圧が張り出してきて、秋らしい晴天が多くなった。学校や地域では運動会のシーズンであり、京都はこれからが本格的な観光シーズンである。

観光といえば円高になって海外旅行をする人が多い。今年も延べ1,000万人以上の人々が海外へ出かけることになる。確かに海外旅行は安くなった。国内旅行より割安なツアーもたくさんある。京交山岳部でも45周年記念事業で海外の山を候補のひとつにした。円高の恩恵を受けるには、まず海外旅行をすべきかもしれない。

円高といえば、最近、大銀行に勤める1人の人間が為替取引で1,000億円以上の損失を与えたという。通貨の交換レートが固定制から変動制に変わって以降、為替取引が投機の対象となり、為替ディーラーという新しい職業ができた。しかし、やっていることはバクチとたいして変わらないようである。勘だけを頼りに大金をつぎ込み、負けが込むとそれを取り戻そうとしてより大きな勝負に出る。そしてどうにもならなくなる。為替の変動が一国の経済に与える影響は、最近の日本の円高騒動をみればわかる。円高になって海外旅行に行きやすくなったのは、結構なことであるが、やたらとレートが変動するのは困りものであり、ましてや変動するのを利用して金もうけしようというのはもっと困ったものである。

11月は京都は紅葉のシーズンである。名園鑑賞もよし、ぶらぶらと散策するのもよい。19日には北山トレイル（京見峠～高雄～清滝）があるし、26日には山岳連盟主催の恒例の清掃登山（京交は天王山）もある。気楽な気分で行くことにしよう。

(10月15日記 S.I.)

【第2053回例会】

無雪期指導員研修会および検定会

山岡 昭弘

9月8日（金）～10日（日）に御在所岳藤内壁一帯で行われた「無雪期指導員研修会および検定会」の報告をいたします。今回は都合で9月8日～9日の参加となりました。

・9月8日

今日はいよいよ検定会。！！

少し緊張しながら、朝のラッシュを避けるべく、午前6時に松田氏の車で京セラ本社前を出発。鈴鹿へと向かいました。午前8時前に蒼滝駐車場に到着。仕度を整え、藤内小屋へと向かいました。荷物が少し重たかったけれども、約30分程で藤内小屋に到着、小屋の裏側にテントを張り、他のメンバーが揃うまで、テントの中でゆっくりすることにしました。

朝のラッシュの影響で、本日のメンバーが揃ったのは午前10時過ぎでした。

小屋の前で、簡単な挨拶の後、今日の研修会の班分けを行い、検定会は始まりました。

P7下部に一旦集合し、今日の検定内容についての講習会があり、その後、各班に別れての検定へと移りました。ちなみに、松田氏の検定班は「当たり」でした。『了解点に達する』よう、がんばって下さい。（別に他意はありません。）私は、指導委員長の班へ生徒役ということで入りました。

私の班は、検定員1人、受検者2人、そして生徒役の私の4人で、P7下部でのザイルについての検定から始まりました。

懸垂下降、実践、確保の各検定を済ませて、P2上部の鞍部に着いた時、辺りはもう薄暗くなっており、満月と遠く四日市市街の明りが、私たちを出迎えてくれました。時計を見ると午後6時過ぎ。ヘッドランプをつけて、急いで小屋へと下山しました。

夕食の後、登攀と確保についての指導法の検定を小屋内で行い、午後11時前に、今日の日程を終了しました。

いつもながら、自分では解っていてもそれを相手に伝えることの難しさ、教科書通りの指導ではなく、その場その場の状況に応じた指導の必要性を痛感させられた1日でした。

・9月9日

午前7時30分に小屋の前に全員集合。！

挨拶、今日の行動予定の説明、班分けが行なわれ、今日の日程開始となりました。

松田氏は……、補講班ではなく研修班へと入りました。どうやら、『了解点に達していた』ようです。とりあえず、

「合格、おめでとうございます。」

今日は1日、一ノ壁付近で研修ということで、テスト岩前まで移動しました。

まず、コンテナアスで一ノ壁周辺を登ることになりました。私は、一ノ壁は初めてなので、セカンドで行かせてもらうことにしました。以下、私なりの感想です。

左トラバースルート。下から見上げるとのっぺりとした感じでしたが、大きなホールドが多く、最初に考えていたほど難しくはありませんでした。高度感はいじょうぶんに味わいましたが……。

ダイレクトルート。左トラバースルートより少し難しく感じました。オーバーハング気味の部分を越えるのがポイントでした。私は身長があるので有利でしたが……。

右端のルート。これはやめておけば良かった、ホールドはたくさんあるのだが、小さくて、思い切りが必要です。多少のゴリも必要。オーバーハング気味の部分を越えるまでに腕力を使い果たし、後半部分で、いじょうぶんにエクスタシーを感じるはめになってしまいました。

検定中に正面に見えていた、そして、「あんなところ登れるのかな?」と思っていた一ノ壁に、姿勢好はともかく、初めて登らせてもらい、感激した1日でした。

(参加者)

吉田 武, 松田 誠二, 山岡 昭弘

【個人山行】

祖母山, 大崩山

岡田 茂久

福岡で車が都合できたのは本当に有り難かった。ユニバシアード開催中というが朝の市内は静かである。九州自動車道を慎重運転、熊本ICに着いたのはすでに正午近かった。雲は少しあるものの天気は申し分ない。気ままな山旅である。時に運転を交替しながら、登る山も泊まる場所についても、何の心配も気遣いをする必要もない山行なんて何年ぶりだろう。ただ、馴れぬ車でギヤがうまく入らないのだけは気を遣う。

数年前、傾山と祖母山を登るべくフェリーを予約したのであるが、神戸港でワンボックス車は天井がつかえるからと乗船拒否され、航海長まで巻き込んでテンヤワンヤのあげく、潮の加減で下船できないかもと脅されながら、空気を抜いてタイヤをペシャンコし何とか乗船、やっとこさ大分港に上陸。しかし、苦勞した割には翌々日が大雨となり、傾山には登れたのだが祖母山は断念した思い出がある。それだけにまずは祖母山へと、熊本からR57を経てR325を東へ向かう。

以前に走ったときは渋滞に悩まされたが今日は気持ち良く走れる。途中、コンビニで食料を仕

入れ、阿蘇山麓にある白水町の白川水源に立ち寄った。阿蘇の山々の降水が長い年月を経て湧水となり、1分間に60トンもの清冷な水が地底の砂とともに噴出している。湧水はいくら汲んでも良いということだが、整備協力金が100円也。我々も20ℓのポリタンを満タンにし昼飯をとる。R 325は高森峠を越えるまで、阿蘇の主峰から外輪山まで素晴らしい展望を見せてくれる。烏帽子岳から中岳へのなだらかな山容、根子岳の恐竜の背中のような荒々しい起伏のスカイライン。思わず道路脇に車を止めて見とれてしまう。今日中に祖母山に登ることにしているのに時間も気にならないほどである。

高森峠を越えて宮崎県に入り、上河内から五ヶ所の集落を経て林道に入り、一の鳥居を横に見送り、祖母山の登山口に着いたのは、もう14:00であった。4駆車だけに狭く凸凹の多い林道も安心して走れるのはさすがである。駐車場には一台の車もなく人影もない。どうやら今日の祖母山は我々二人だけの貸切りのようである。

周回コースをとることにし、よく踏まれたルートをたどったが、地図にある北谷ルートとは異なり、どんどん南下して一の鳥居からのルートと尾根で合流したのは、千間平からは大分に南であった。千間平ルートは祖母山を正面にして展望の良いコースのはずであったが、樹木が成長して展望はあまり良くない。大分県、熊本県、宮崎県の三国境を過ぎるとすぐに国観峠であり、大分県の神原からの道が合流する。広場の真ん中に石地藏がぼつんと鎮座してござる。この辺りは昨夜に相当の降雨があったらしく、国観峠の石地藏の赤い毛糸のマントも濡れそぼり、新しい登山者の足跡は一つもなく、今日は地藏さんも寂しそうであった。

峠から頂上ドームへは流水で荒れた登山道の急登で、途中九合目小屋への道が分岐、小屋へは頂上ドームを大きく回り込む。九合目小屋はかなり老朽して補修の跡が目立つが、そこそこの人数は収容できそうである。管理人が常駐していると聞いたが、この荒れようでは相当の期間が無人ではないだろうか。小屋からは直登気味の急な登りが頂上に導いてくれる。樹林を抜け尾根にでると、先ほど岐れた登山道と合流し頂上広場に飛び出した。霞んでいるものの霧島山群から阿蘇、久重山群、由布岳までの360度の展望は期待どおりであったが、頂上から急降下して古祖母山に続く険しい縦走路の向こうの傾山は、あいにく湧き出したガスで隠れてしまい残念なことであった。のんびりと貸切りの頂上で一服する。

下りは本谷コースをとる。険しい岩壁も所々に噛んだ急降下の悪路で、ルートを誤りかねない場所もある。大岩が重なる洞窟状の風穴を過ぎるとルートも楽になり、登山口の駐車場に続く林道に飛び出した。さすがに時間的なこともあり夕日に光る車のフロントガラスを見てほっとする。

今日中に大崩山の登山口までたどり着きたくて急いだため、五所ヶ原にあるウェストンの碑をうっかり通り過ぎてしまったのは残念なことであった。高千穂峽で燃料を補給、改修されたR 235は快適に走れたが、延岡に着いた時にはとっぷりと日も暮れていた。酒屋で近道を教えてもらい、祝子川に沿う狭い道を上祝子に向かうが、暗闇のカーブの連続で緊張する。下祝子では真っ暗な中に1軒家の食料品店の明かりを見つけてほっとする。思わず入り込んで余計な食料を補充してしまった。大崩山の登山口についたのはもう22:00を過ぎていた。今夜は車中泊であるが、明日の好天を約束してくれるように、久しく見たことがない澄み切った満天の星が梢の間に輝い

ていた。

朝、出発の準備をしていると中年の男女の登山者が到着し前後して登りだす。大崩山の家はかってお化け屋敷のようだといわれていたらしいが、改修されて立派な建物となっていた。わく塚コースへの祝子川の渡渉点分岐で釣屋に道を聞かれる。地元の山屋に見えたのか、こっちが教えて欲しいぐらいで適当に答えておいた。ごめん。祝子川は家程の大きな岩がごろごろした河原で、渡渉点は太い丸太の一本橋にワイヤーが沿えてあるだけで嬉しくなる。少し登った地点の岩小屋には大きなスズメ蜂の巣があり、こんな所で刺されては、帰りの新幹線に頬かむりして乗らんなんと早々に逃げ出す。谷は水が切れると急登となり、アルミの梯子や固定ロープにすがり下わく塚の尾に登り着く。先ほどの中年の男女の登山者も次いで到着する。

我々と余り離れたくないのか相当に無理をしている感じだ。お先にと出発する。ルートは下わく塚の下部をトラバース気味に巻いて登っている。下わく塚の展望台は足元がすっぱりと切れ落ちた岩壁の上で、小積塚の広大な岩壁を正面に見渡す別天地である。下を覗いて見たが最近とみにバランスが悪くなり身震いがする。上わく塚へは時間短縮に岩壁の下のトラバースルートを迂回したが、結構の悪路で時間短縮になったかどうか。稜線に出ると祝子川を遡って回り込む三里河原ルートが合流する。

ここからは樹林の中の穏やかな登りとなり、坊主尾根の分岐を左にみて主稜線に乗り、石塚の露岩を過ぎ、ルートにかぶさる灌木の中の道を潜るようにして行くと頂上であった。一等三角点であるが周囲の灌木が伸び展望は今一つである。周囲には厳しい岩壁を巡らしているが、頂上は北山のどこかに似た穏やかな風情があった。

ゆっくりと休むつもりであったが、天候は下り気味で雲が厚くなってきたのをしおに立ち上がる。石塚の露岩まで戻ると昨日登った祖母山初め、九州中部山岳の展望が大きく開ける。下わく塚で別れた男女の登山者はまだ到着せず、岩峰の登り下りで事故でも起こしていないかといささか気になる。坊主尾根への分岐から小積塚を経るルートを下ることにする。上部は笹の切り開きの中の急降下である。わく塚を正面にして開けた好展望の岩壁の上で、休憩している当の二人を見つけて一安心。聞けば時間的にも体力的にも無理と判断し頂上は割愛したということだ。下山だけだからゆっくりするという二人を残し先を急ぐ。アルミや木の梯子、栈道、固定ロープの連続で、岩壁や巨岩をへつったり登ったり潜ったり急降下の難路である。整備だけはしっかりされているようだが、坊主尾根と林道ルートへの分岐迄は気を抜けない。祝子川の河原に降り立ったときは、さすがにいささか疲れ気味であった。

林道を下った上祝子の集落からは、白い花崗岩の岩壁に鎧われた大崩山の全貌が見渡せる。ここから見上げると“うん、あそこに登ってきたんだな”との実感が湧く景色だ。しぐれ出した中を延岡を経て熊本へ戻る。高森峠を越えると、雨はもう本格的な降りとなっていた。

やっと車のギヤが入り難い原因が判明、要するに二人とも足が短かったため、クラッチの切れが悪かったのである。

阿蘇山麓の今年オープンしたばかりの白水温泉で汗を流す。雨の露天風呂が充足感でいっぱい山行きの最後を締めくくってくれた。

【個人山行】

南アルプスの山旅

洛西 服部正義

今回、2泊3日で南アルプスで二山（池口岳、奥茶臼山）が残っているので9月8日勤務終了後出発する。

名神中央道で恵那I.Cで下りて、R257、R418で天竜村へ。平岡から南信濃村に入って秋葉街道を大島集落で池口集落へ右側、戻る様に右折してコンクリート道路を登って行くと、池口集落、直進しないで左へ曲る様に登って走ると、一番高台に有る民家が遠山家。（駐車地点へ9日0:51分着、5:00迄ぐっすり仮眠する）

手前のヘヤピンカーブの広い場所に車を駐車して池口岳へ出発する。（5:30発）

池口岳 北峰（2,392米）南峰（2,375.6米）三等三角点

遠山家の裏が、林道入口でワイヤのゲートがあり、ジグザグに手入れされた道を25分で（低いはしご）の有る尾根の登山口。（休猟区の黄いカンバンが木にうちつけてある）

登山口に立っているプレートは登山口は林道を2km先となっているが、入山（三△等）へ登るためスタミナを消耗するので、この地点から登ると良いと思います。（5:55着）

登山口から25分で、径から10m位松林に入ると、入山（三△等）を確認して、除々に高度を稼いで歩くと、大岩の上に大木、岩の下に祠がある（山ノ神）。（7:02）

山ノ神から穏やかな尾根歩き、左側（北側）下を眺めれば遠山川と大野・小野の集落が段々に形成している。

この先から、コメツカ林の急登歩きで笹原が茂って、右側がガレバの黒雉（三△等）に、右前方に双耳峰の池口岳がそびえ立っている。（8:14）（休憩を取り、水分補給、写真タイム）

黒雉からピーク二つ越えるとザラナギ平で、奥茶臼山がよく眺められ、カメラタイム。この先から尾根が狭くなり、急登の連続、2箇所^{（くさび）}の岩場を通過、再度急登に登りだすと、光岳加加森山からの登山道とのジャンクション（分岐）、シラベ林の急登を登りきると池口岳北峰（2,392米）、樹間で展望は利かない。ほとんどの人々がこのピークで下山の様だ（9:58着）。幹に（北峰2,392m）一枚のプレートがうちつけてあるピークから笹原、踏跡を一気に下って登り返すと、右側に小さいプレートに中ノ尾根の縦走径、この登山道もはっきりしない。

笹原の踏跡を直登して、遂に池口岳南峰にピッケルを立てる。（10:18着）

笹の中に傷のない三等三角点が、そして日本百名山光岳が正面に、今回2個の光岩を見たくて写真を撮りに、この山頂へやって来た。

一△等、百名山大無間山、黒法師岳も樹間から眺められて大満足、記念写真、昼食して、山頂でゆっくり休憩を取り、往路下山。（山頂釈迦岳11:00出発）

下山途中、黒糺の急登下りで一頭のカモシカに出会い、追いかけて下って行くが、もう見えない。カモシカの鳴き声で笹の左上を見上げると、どうだいと言わんばかりに小生を見下ろしていたカモシカと出合った池口岳登山。遠山要さんの林道入口へ無事に戻る。(14:20着)

池口集落からR152に出、シラビソ峠に向かって蛇洞林道に入ると砂利道、下って行くと地藏峠(1,330米)に着き、鬼面山(一△等補点)1,889米へ足を伸ばして一山稼ぐ。(一△等研究会例会のあった山)

下山後、地藏峠にて中秋の名月を眺める。(19:07)

地藏峠から下りは舗装道路。明日登山する奥茶臼山の青木林道を右に見て鹿塩温泉まで走って入湯(750円)。近くの食堂で遅い夕食を済ませ、駐車場で一夜を明かす。

奥茶臼山(2,473.9米)二等三角点

鹿塩温泉から地藏峠方面へR152で、青木林道入口の急カーブ、手前の広い場所へ駐車して、長い林道歩きに出発する。(8/10, 6:10)

橋を渡り、営林署の作業小屋の前を通り、歩きやすい林道を二俣まで、右は地獄谷、左は前茶臼山のプレートが立っていて、左の林道を歩く。(7:56着)

二俣から親子連れの鹿に再三合いながら、屋根が飛んでいるトタンの作業小屋のある林道終点に着く(8:01着)。作業小屋右の脇からトラバス状の作業径、2個の大岩の間いだを(唯一危険な所)、まず最初の伐採跡が山頂まで5ヶ所あり、テープ(目印)も少なく、山勘で山頂直下の大伐採地点の肩に着く(8:53着)。唯一の展望の良い所だが、ガスで全然ダメ、ガスの中直登して、山頂手前径の真ん中に4個の石に囲まれた二等三角点が迎えてくれる(山頂着9:03)。三角点から少し奥へ歩くと、プレート二枚あるピーク。展望も利かない山頂で記念写真を撮り、往路下山。林道で、下りは近道をして、約30分短縮して、無事林道入口へ戻る。(12:03着)

再度、鹿塩温泉に入湯して、汗を流して、松川I.Cから無事亀岡へ帰る。

隠岐の旅

洛西 服部正義

格安ツアーで女房と9/28、米子経由で隠岐へ伊丹空港から飛び立つ。

大満寺山(608米)一等三角点本点

数百の島からなる隠岐諸島。後醍醐天皇が配流された島として、又登山する様になって、一△等大満山ぐらいしか知識を持っていなかったが、今年になって佐渡島(武奈ガ平山)(金北)(経塚山)(ドンデン山)に次いでやっと実現する。

島後（どうご）、島前（どうぜん）と二分されて、中心地は西郷町で、空港もあり、信号機も現在9ヶ所あり、一番活気にあふれている町。

ツアー最初の見学地は玉若酢命神社。ここの資料館には、日本で最初の実印と現在の「はがき」の切手になっている（驛鈴）を見学、現在、各々の駅伝マラソンはタスキリレーを取り入れているが、昔は、驛鈴を鳴らしながら5km位交代しながら、重要な中央の書類をリレーしながら、馬で走っていた様です。

次いで、隠岐国分寺。後醍醐天皇行在所跡。元弘元年に鎌倉幕府を倒そうとする計画がスパイによって北条高時に発覚して、宇治平等院で捕らえられる。承久の乱に後鳥羽上皇が配流されて、111年目に再び天皇が流された元弘の乱。（隠岐は政治犯が配流）（佐渡島、八丈島は犯罪者を送り込まれた）

これだけ知識を聞けば、牛突き見物もそこそこにツアー一行と別れて、R485を有木集落へ、有木川に沿って歩くと碎石場、砂利道の林道を右に取り川沿いの林道を登って行くと、砂防ダムの上に架かって長い橋を渡ると右脇に大満寺登山口のプレートがある（この林道峠を越えて布施村へ下る）。約0.2km間隔で石仏が置かれて、登って歩くと、野営場にもなっている大満寺、寺の右側から再度登り始め、右手に「窓の杉」を通り、稜線分岐まで急登、下って行けば布施村乳房杉へ、径を左にとりロープの付いた急登を登り、やせ尾根を歩けば、隠岐の最高峰大満寺山頂に着く。まああの展望で、三角点は四面取られていてがっかりする。記念写真を撮り、往路下山。

西郷湾に戻り「ニューかじたに」で一泊して、その後、ツアーの皆様と観光見物して、隠岐空港出発。機中から大山を眺めて、無事帰阪する。（国分寺跡13:10。有木集落、林道分岐13:37。林道登山口14:06。大満寺キャンプ場14:36。隠岐水産高校80周年記念磐山頂14:58。）

【個人山行】

会津の山旅

「磐梯山」と「西吾妻山」と「安達太良山」

梅津 吉田 武

（10月1日～2日）

今年の夏は絶不調、今までの付けが回って来たのか右足が全然だめで7月と8月は医者通いで、楽しみにしていた夏山も夢に終わった。

9月に入って体調も良くなり、久しぶりに御在所藤内壁に岩登りの研究会と検定会に参加する。少しずつ体をならすため、愛宕山や高雄の山に週2回程歩いた。

今回リフレッシュ休暇を利用して百名山に登る事にした。

非番の日曜日に行動食と1泊分の食糧を買い込んで夕方まで寝る事にした。

待ち合わせ午後6時に京都を出発して、湖西道路を敦賀まで走り、北陸道に乗る事にした。

いつもながら北陸道は走りやすく、長岡J Cから関越道の堀ノ内I Cで降りる。料金所にてR252の事を聞くと「明朝6時まで通行止だから他のルートを利用して下さい」と言われたが、R252の通行止ゲートの所で仮眠する。

(10月2日)

5時半にゲートが開き、道路公団の車が先導して通行止区間の1.9kmを抜ける。

只見町から会津坂下町、磐梯町よりゴールドラインを走り「八方台」につく。

天気はあまり良くないが林道を歩き出す。30分も歩くと林道は通行止になって、その横より登山道があった。すぐに「中ノ湯」があったが、帰りの楽しみにして先に進む。弘法清水まではゆるやかな登りで周囲の景色を見ながらのんびりと登った。

夏山シーズンであつたらジュースやみやげを売っているようで、今日は閉まっていた。

風も少し出て来たが、紅葉を楽しみながら1ピッチで石の積まれた頂上についた。

ガスのため視界は皆無、雨も降って来たので傘をさしながら軽食をすませて早々に下山する。

中ノ湯温泉で一風呂浴びて帰ろうと思ったが、今日は休業の看板がかかっていた。20分程で駐車場に下りた。すぐに今日のテント地を探す事にする。

裏磐梯まで戻り、国民休暇村桧原荘にて入浴して、休暇村野営場でテントを張らしてもらう。

1人300円、1張1,000円でトータル1,900円、しかし屋根のある快適なテント地であった。

(10月3日)

昨夜は満天の星がテントを照らしていたので天気は良い、と思ったがやはり朝になるとガスになっていた。

裏磐梯早稲沢から西吾妻スカイバレーを通過して白布峠から天元台ロープウェイ乗り場に駐車した。

8時20分発の一番のゴンドラに乗って天元台スキー場についた。思っていたより大きなスキー場で、関西では伊吹山スキー場より大きいだろう。ゲレンデの中をゆっくりと歩いてリフト3本分を歩いたら登山道になった。しらびその中を30分程行くと中大嶺^{オオダイサン}の展望台についたがガスでなにも見えない。梵天岩の道標に従って南に方向転換して30分で梵天岩、そして天狗岩とガスの中に大きな岩がゴロゴロしていた。

オオシラピソの中を「吾妻最高峰」の標注があった。2,035mもあるのに三角点もなく、樹林に囲まれて展望もまったくなかった。往路をリフト終点まで下山して来て初めてガスが消えてスキー場のゲレンデ、そして遠くに米沢市が見えていた。

1時間程でゴンドラの子元台についた。20分間隔で運行しているので待時間も少なく駐車場についた。西吾妻スカイバレーから裏磐梯に戻り、国民休暇村野営場にテントを張る。

(10月4日)

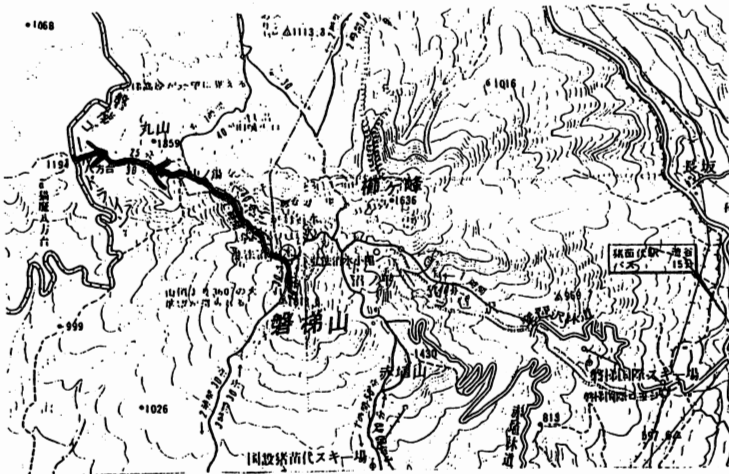
裏磐梯よりレークランイ道路を走って土湯トンネルを抜けて安達太良高原スキー場の富士急ホテルの前に駐車した。初発のロープウェイは8時30分だったのでヒュッテでコーヒを飲んで待った。ゴンドラからの景色は今が一番美しいと思う。遠くに吾妻小富士が見えていた。ゴンドラは薬師岳まで乗せてくれる。薬師岳周辺は遊歩道になっていて、安達太良山は遊歩道を半分程歩いて途中より登山道がついていた。20分程歩くと安達太良山の全景と籠山の岩峰、そして全面に広がる紅葉のすばらしさを楽しみながら40分程で乳首の山頂についた。

ガスが晴れて展望も最高である。北に吾妻連峰、北西にかすかに飯豊連峰も見える。西に磐梯山と十分に眺望を楽しんだ。

今日中に出来るだけ関西方面に近づきたいので早々に頂上を後にする。

富士急ホテルの駐車場より一路、二本松ICから郡山JC、そして磐越道を会津坂下ICで降りてR252を走って、小出ICより関越道から北陸道を走って、夕方に柿崎ICでおいて旅館に泊り、5日は北陸道の敦賀ICでおいて京都まで帰る。

(参加者) 吉田 武 他2名



磐梯山

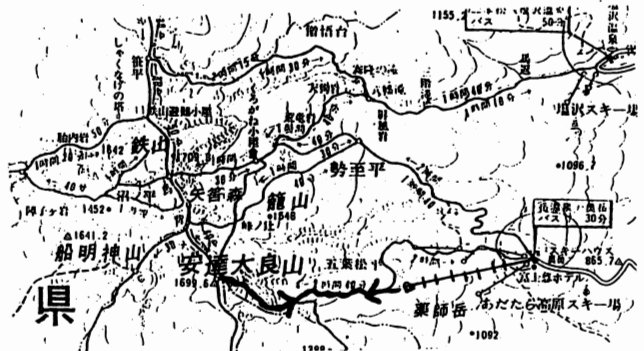
1818.6m

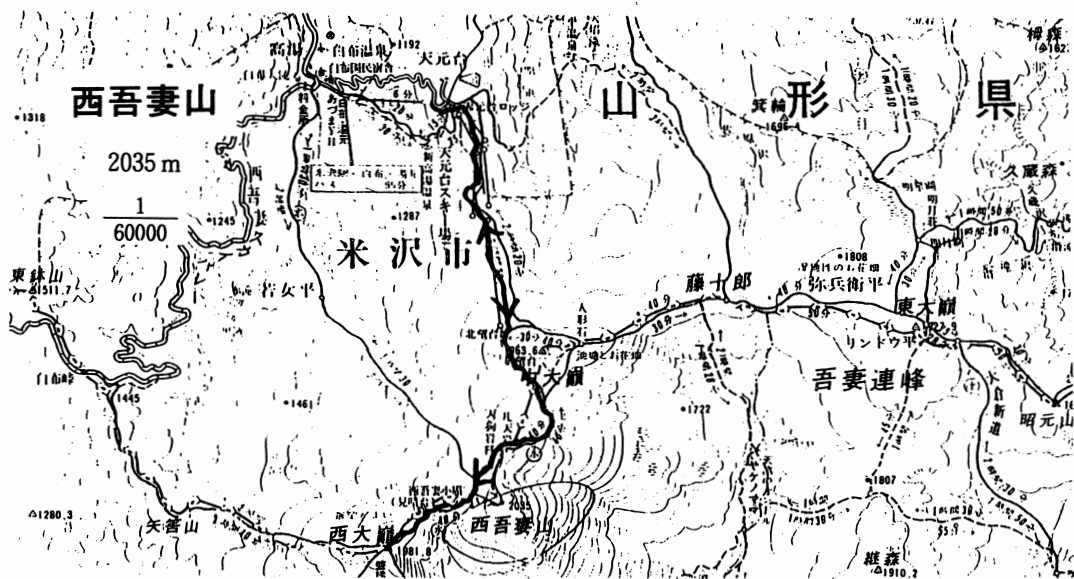
$\frac{1}{60000}$

安達太良山

1699.6m

$\frac{1}{60000}$





例会報告

例会 No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
2053	無雪期指導員検 定会・研修会 御在所岳藤内壁	9月8日 ～10日		山岡 昭弘	吉田 武 松田 誠二	(別稿詳報)
2045	苗場山	9月14日 ～16日		大倉寛治郎	森本, 坂田, 大倉F, 三橋F	(次号詳報)
2054	一等三角点の山 岩戸山	9月16日		大槻 雅弘		(中止しました)
2055	伏見山	10月7日		大槻 雅弘		(次号詳報)

部 員 動 静

目 的 地	月 日	天候	参 加 者	記 事
祖母山, 大崩山	9月2日～3日		岡田 茂久 大槻 雅弘	(別稿詳報)
南アルプスの旅 隠岐の旅	9月8日～10日 9月28日		服部 正義	(別稿詳報)
会津の山旅	10月1日～2日		吉田 武 他2名	(別稿詳報)
中央アルプス 越百山 南駒ヶ岳 空木岳	10月6日～9日	晴 のち 雨	廣瀬光太郎 田村 正弘 清水 康弘 室谷 和彦 朝山 勝人 井戸 澄夫 他1名	須原から入り, 摺鉢窪避難小屋に泊 まって, ひとまわりした。

雑 報

△△△ 10月の集会

日 時 10月11日
場 所 厚生会館 4F 大教室
出席者 (OB) 奥村, 津田, 河村, 渡辺, 三橋
(本局) 岡田, 井戸, 方山, 山元
(梅津) 吉田 (竹田) 大倉

以上 11 名

内 容 例会報告ほか

△△△ 9月の企画運営委員会

日 時 9月21日
場 所 厚生会館 4F 大教室
出席者 井戸, 吉田, 大倉, 奥村, 山岡
内 容 11月の例会予定
岳連行事

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

10月号 山友, 木難, 近畿山行, 趣味の登山, 京都山岳

△△△ お知らせ

- ・京都トレイル「北山コース(西部)」コース

日 時 平成7年11月19日(日)

受 付 鷹ヶ峰小学校 9:00~10:00

コ ー ス 鷹ヶ峰小学校~京見峠~上ノ水峠~沢ノ池~福ヶ谷林道~高雄~清滝

- ・山岳遭難を無くする集い

日 時 平成7年11月18日(土) 午後6時開場 午後6時30分~9時

場 所 京都府中小企業会館 大ホール(2階)

参加費 500円(資料代)

講 演 I 穂高の魅力と今田重太郎氏の思い出(講師 神 憲明氏)

II 安全で楽しい登山を(講師 内野 政光氏)

家庭用品 } 総合卸商社
衛生用品 }

日華商事株式会社

本 店 京都市南区上烏羽大物町13番地

☎601 電話 (075)672-6101(代)

FAX (075)661-7332

八坂運送有限会社

京都市伏見区醍醐新町裏町24番地の4

TEL (075) 571-1108

帆 布・濾 布
テント・シート
雨 合 羽

木村工業有限会社

京都市中京区ミブ車庫前

TEL 801-5331 (代)

西大路営業所

下京区西大路七条下ル

TEL 321-0251

登山とアウトドア専門店

今、アウトドア派大集合!!

- 登山用品はもちろん、
注目のスポーツ
カーブをはじめ、
ひと味違う充実の
品揃えは必見のもの!!



ビッグホリエケ

営業時間 AM10:00~PM9:00 <年中無休>

京都市中京区御池通高倉西入(千代田生命京都御池ビル2F)

☎(075)222-0363

京都で唯一の山の専門店

Now Outdoor sports
 ハイキング&キャンピング・クライミング
 アウトドアウェア・US製用品
 ボーイスカウト用品

Mountain

〒604 京都市中京区二条通河原町西入
 TEL 075(258)-0548
 営業時間 AM10:00-PM8:00 毎週火曜定休
 (株) スポーゾ コニシ

十一月一日は陰暦の九月九日、五節句の一つである重陽の節句にあたる。菊節句ともいわれ、盛んであったが今では殆どすたれた。日本での調べはついてないが、中国ではこの日に茱萸を入れた袋を提げて高い所へ登り、菊酒をのむと長生きをするという俗信がある。別名、登高とも。

高きに登る卑弥呼色白なりと思ふ
 成瀬桜桃子

制作 株式会社 北斗プリント社
 ○七五―七九一―六二二五

葦の髄から天井を覗く… ⑩

建設省国土地理院発行地図販売特約代理店
 国土地理院空中写真(カラー・白黒)取次
 通産省地質調査所発行各種地質図取扱店
 各種地図製作並びに印刷
 地形図は、20万・5万・2万5千とも全国を常備しております。

小林地図専門店

株式会社 **小林地図専門店**

〒600 京都市下京区不明門通六条下る西側
 (烏丸通六条東 1筋目下る) ☎ (075) 351-6598

地下鉄：五条駅 5番出口・市バス：烏丸六条下車

結婚引出物・内祝・開店記念品・粗品
 仏事用お返し品・お中元・お歳暮用品

贈答品総合センター

厚生会指定

サンコークラフト

西島輝雄

左・川端丸太町下る下堤町88
 TEL (075) 771-3442

平成7年11月1日

京都市中京区壬生坊城町48

京都市交通局内

京交山岳部